

マウス ES :AES0121 Nanog<sup>flgeo/+</sup>

- (1) 利用者は、学術機関に所属している者に限る。
- (2) 利用者は、本件リソース及び本件リソースからその性質の同一性を保つか否かにかかわらず複製又は増殖された細胞の所有権が京都大学に属することを確認する。
- (3) 利用者は、本件リソースの使用にあたり、次の事項を行なってはならない。
  - ① ヒトとの混合胚作製
  - ② ヒトに対するいかなる目的のための使用
- (4) 利用者は、本件リソースを理研BRCの生物遺伝資源提供同意書に記載された学術研究課題(以下、「当該研究課題」という)以外に利用してはならない。
- (5) 利用者は、本件リソースを利用して当該研究課題を実施する際、第三者との共同で行う場合には、京都大学から事前に書面による承諾を得るものとする。
- (6) 利用者は、本件リソースを自ら取り扱うほか、自らの指導下にある者(本研究者の研究室に所属する教職員、研究員、実験補助者、大学院生、及び学生等)にのみ利用者が所属する機関内で取り扱わせることができるものとし、その他の第三者(利用者が所属する機関が、外部機関より受け入れた者を含む)への分配・譲渡、およびその者に取り扱わせることはできない。
- (7) 利用者は、本件リソースを使用して得た研究成果を文書又は電子データで公表する場合、その写しを京都大学に送付する。

京都大学連絡先

国立大学法人京都大学 iPS 細胞研究所  
知財契約管理室

E-mail: cira-keiyaku@cira.kyoto-u.ac.jp

FAX: 075-366-7023

ホームページ: <http://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/index.html>

- (8) 本同意書に基づき利用者が本件リソースの使用のもとに得た知的財産権につき、利用者は京都大学による当該知的財産権の学術研究目的での使用を許諾し、当該知的財産権を行使しない。
- (9) 京都大学は利用者に対し、本件リソース及び本件リソースから派生したいかなる細胞の効果、非毒性、安全性、使用の適性、知的財産権の非侵害その他本件リソースの提供、輸送、保管、使用、若しくは廃棄にかかる一切の事項について、何ら保証を行なわないことを確認する。万が一、その提供又は使用を通じて利用者に何らかの損害が発生した場合であっても、京都大学はその責任を負担せず、利用者自ら解決する。
- (10) 利用者は、研究成果の公表にあたって、寄託者の指定する次の文献を引用する。

Mitsui, K. et al., "The homeoprotein Nanog is required for maintenance of pluripotency in mouse epiblast and ES cell." Cell 113: 631-642 (2003)
- (11) 利用者は、本件リソースが外来性の遺伝子を導入する過程を経て作製されたものであることを確認し、本件リソースの生物個体への移植・接種にあたっては、それが「遺伝子組み換え実験」に該当することを認識し、「遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」に基づき、利用者所定の手続きを経て承認等を得る必要があることを確認する。
- (12) 利用者は、理研BRCが、その提供の事実(提供先機関名、研究責任者名、利用課題名および提供日)を、寄託者に報告することに同意する。

以上